



◇◇◇ 自分の声を企業に届ける ◇◇◇



友人が食品の原材料を電話で問い合わせたり、お客様ボックスに「食品の放射能汚染が心配」と書いた紙を入れているのに刺激を受け、私もよく購入している豆腐・パン・チーズなどの産地を製造元に聞いてみました。面倒臭そうに答える会社もあれば、「他のお客様からも、たくさん問い合わせ頂いていますよ」と、聞いていないことまで丁寧に説明してくれる会社もありました。

業界最大手イオンは、6,000件の消費者の声を受け、店頭での放射性物質「ゼロ」を目標に食品の自主検査と情報公開を行なっています。オークワも、7月より自主検査を開始しました。他にも企業の規模に関わらず、自主検査・公表を行なったり、独自基準を設けたり、HP上で産地を明記したり。こういう流れをみていると、消費者の声によって企業は変わっていくんだなあと、ひしひし感じます。放射能に限らず、ちょっぴり面倒だけど、ちょっぴりドキドキするけど、自分の声を企業に伝えてみる→企業側がその声に応える。その繰り返しで、よりよい商品、より良い流れができていくのではないのでしょうか。

☆オススメWeb☆ ビデオニュース・ドットコム ニュース・コメンタリー (2012年09月22日)

『原子力規制委員会発足 真に独立した組織となるためには不断の監視が必要』

http://www.videonews.com/news-commentary/0001_3/002540.php

政府が9月14日決定した、原発ゼロをうたった「革新的エネルギー・環境戦略」について、その決定過程と問題点を分かりやすく説明。原子力規制委員会の発足会見の映像を見ると、原発稼働を決める権限が国、企業、規制委員会のどこにあるのかはつきりせず、責任の所在も曖昧なことがわかります。自分たちの身を守るためにも、エネルギー施策や原発問題に関心をもち監視し続けなくては！！と気づかせてくれるとっても貴重なビデオニュースです♪ * (・▽・) *

「和歌山市がれき受け入れ検討終了」

9月3日、和歌山市のHPに「震災がれき受け入れ検討の終了について」の発表がされました。『(省略)国が策定した「災害廃棄物の処理工程表」では、新たな受入先の調整は行わず、既存の自治体との調整を行う旨が示され、実質上本市における広域処理の必要は無くなりました』市HPより抜粋

市内での焼却はなくなりましたが、被災地や他の地域でのがれき問題が解決されたわけではありません。被災地の復興、被災している方々の気持ちはもちろん、放射性物質の拡散防止、ゴミの焼却・埋め立て問題など、今後も、私たち一人ひとりが自分のこととして考え、取り組んで行かなければならない問題だと思えます。

